

※現行課程（青字は省略）に新課程の赤字を追加して指導する。「内取」とは「内容の取扱い」を省略した言葉。[用語・記号]は移行措置関係のみを抜粋掲載。新課程の〔数学的活動〕は省略。

平成21年度		平成22年度		平成23年度	
現行課程	新課程	現行課程	新課程	現行課程	新課程
A 数と式 (1) 正の数・負の数 ア 正の数と負の数の意味 イ 正の数と負の数の四則計算の意味と計算 (2) 文字を用いた式 ア 文字を用いることの意義 イ 文字を用いた式における乗法・除法 ウ 簡単な一次式の加法・減法 (3) 一元一次方程式 ア 方程式などの意味 イ 等式の性質と方程式 ウ 簡単な一元一次方程式の解法と利用 B 図形 (1) 平面図形 ア 線対称、点対称 イ 基本的な作図とその利用 (2) 空間図形 ア 空間における直線や平面の位置関係 イ 空間図形の構成や表現 【内取3(4) 投影図は扱わない】 ウ 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体、錐体の表面積と体積 C 数量関係 (1) 比例、反比例 ア 比例・反比例の意味 イ 座標の意味 ウ 比例・反比例の特徴	A 数と式 (1) 正の数・負の数 ア 正の数と負の数の必要性和意味 イ 正の数と負の数の四則計算の意味 ウ 正の数と負の数の四則計算 エ 具体的場面における表現や処理 【内取3(1) 数の集合と四則計算の可能性】 (2) 文字を用いた式 ア 文字を用いることの必要性和意味 イ 文字を用いた式における乗法・除法 ウ 簡単な一次式の加法・減法 エ 文字を用いた式による表現や読み取り 【内取3(2) 不等式】 (3) 一元一次方程式 ア 方程式などの意味 イ 等式の性質と方程式 ウ 簡単な一元一次方程式の解法と活用 【内取3(3) 簡単な比例式】 B 図形 (1) 平面図形 イ 平行移動、対称移動、回転移動 ア 基本的な作図とその活用 (2) 空間図形 ア 空間における直線や平面の位置関係 イ 空間図形の構成や表現 【内取3(5)のうち「投影図」】 ウ 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体、錐体、 球の表面積と体積 C 関数 (1) 比例、反比例 ア 関数関係の意味 イ 比例・反比例の意味 ウ 座標の意味 エ 比例・反比例の特徴	21年度と同じ	21年度と同じ	21年度と同じ	21年度と同じ

<p>エ 比例・反比例の活用</p> <p>【用語・記号】 変数、変域</p>	<p>オ 比例・反比例を用いた具体的な事象の説明</p> <p>【用語・記号】 関数、変数、変域</p> <p>D 資料の活用 (1) 資料の散らばりと代表値 ア ヒストグラムや代表値の必要 性と意味 イ ヒストグラムや代表値による 資料の傾向の把握と表現 【内取3(6) 誤差や近似値、$a \times 10^n$】</p> <p>【用語・記号】 平均値、中央値、最頻値、相対度数、範囲、階級</p>				
--	--	--	--	--	--

中学校数学・第1学年

平成20年6月 文理・編集部

付記：中学校数学・第1学年の移行措置は平成21年度から開始される。22年度と23年度の移行措置は、21年度と同じ。

※現行課程（青字は省略）に新課程の赤字を追加して指導する。「内取」とは「内容の取扱い」を省略した言葉。[用語・記号]は移行措置関係のみを抜粋掲載。新課程の〔数学的活動〕は省略。

平成21年度		平成22年度		平成23年度	
現行課程	新課程	現行課程	新課程	現行課程	新課程
A 数と式 (1) 文字を用いた式の四則計算 ア 簡単な整式の加法・減法、単項式の乗法・除法 イ 文字式の利用 ウ 目的に応じた式の変形 (2) 連立二元一次方程式 ア 二元一次方程式とその解の意味 イ 連立方程式とその解の意味 ウ 連立方程式の解法とその利用 B 図形 (1) 平面図形と平行線の性質 ア 平行線や角の性質 イ 多角形の角の性質 (2) 図形の合同 ア 証明の意義と方法 イ 三角形の合同条件、三角形や平行四辺形の性質の論証（新ではア・ウに分割） ウ 円周角と中心角の関係 [→H22年度から第3学年で指導] C 数量関係 (1) 一次関数 ア 事象と一次関数 イ 一次関数のグラフの特徴と利用 ウ 二元一次方程式と関数との関係 (2) 確率 ア 起こりうる場合 イ 確率の意味と求め方	A 数と式 (1) 文字を用いた式の四則計算 ア 簡単な整式の加法・減法、単項式の乗法・除法 イ 文字式の利用 ウ 目的に応じた式の変形 (2) 連立二元一次方程式 ア 二元一次方程式とその解の意味 イ 連立方程式とその解の意味 ウ 連立方程式の解法とその活用 B 図形 (1) 平面図形と平行線の性質 ア 平行線や角の性質 イ 多角形の角の性質 (2) 図形の合同 イ 証明の必要性と意味及びその方法 ア 三角形の合同条件 ウ 三角形や平行四辺形の性質の論証 C 関数 (1) 一次関数 ア 事象と一次関数 イ 一次関数の特徴 ウ 二元一次方程式と関数との関係 エ 一次関数を用いた具体的な事象の説明 D 資料の活用 (1) 確率 ア 確率の意味と求め方 イ 確率を用いた不確定な事象の説明	21年度と同じ	21年度と同じ	21年度と同じ	21年度と同じ

※現行課程（青字は省略）に新課程の赤字を追加して指導する。「内取」とは「内容の取扱い」を省略した言葉。[用語・記号]は移行措置関係のみを抜粋掲載。新課程の〔数学的活動〕は省略。

平成21年度		平成22年度		平成23年度	
現行課程	新課程	現行課程	新課程	現行課程	新課程
21年度は移行措置なし	21年度は移行措置なし	A 数と式 (1) 平方根 ア 数の平方根の必要性和意味 イ 数の平方根を含む式の計算 (2) 式の展開と因数分解 ア 単項式と多項式の乗法、多項式を単項式で割る除法 イ 簡単な一次式の乗法、簡単な式の展開や因数分解 (3) 二次方程式 ア 二次方程式の必要性和解の意味 イ 簡単な二次方程式の解法と利用 【内取3(4)のうち「xの係数が偶数である簡単な例で、平方の形に変形して解く方法は知ることにとどめる」及び「解の公式は扱わない】 【用語・記号】 根号、素数、因数、 $\sqrt{\quad}$ B 図形 (1) 図形の相似 ア 図形の相似の意味、三角形の相似条件を用いた図形の性質の論証（新ではア・イに分割） イ 平行線と線分の比 ウ 相似の考えの活用 (2) 三平方の定理	A 数と式 (1) 平方根 ア 数の平方根の必要性和意味 イ 数の平方根を含む式の計算 ウ 具体的な場面での平方根を用いた処理 (2) 式の展開と因数分解 ア 単項式と多項式の乗法、多項式を単項式で割る除法 イ 簡単な一次式の乗法、簡単な式の展開や因数分解 ウ 文字を用いた式による数量関係の説明 (3) 二次方程式 ア 二次方程式の必要性和解の意味 イ 因数分解や平方の形に変形することによる二次方程式の解法 【内取3(3)のうち「平方して解くことの指導では係数が偶数であるものを中心とする】 ウ 解の公式を用いた二次方程式の解法 エ 二次方程式の活用 【用語・記号】 根号、 有理数 、 無理数 、因数、 $\sqrt{\quad}$ B 図形 (1) 図形の相似 ア 図形の相似の意味、三角形の相似条件 イ 三角形の相似条件を用いた図形の性質の論証 ウ 平行線と線分の比 エ 相似な図形の面積比と体積比 オ 相似な図形の性質の活用 (2) 円周角と中心角の関係 ア 円周角と中心角の関係の意味と証明 イ 円周角と中心角の関係の活用 【内取3(4) 円周角の定理の逆】 [→(2)は現行第2学年から移行。ただし「円周角の定理の逆」は追加。] (3) 三平方の定理	22年度と同じ	22年度と同じ

		ア 三平方の定理の証明 イ 三平方の定理の意味と利用 C 数量関係 (1) 関数 $y = ax^2$ ア 事象と関数 $y = ax^2$ イ 関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴と関数のとる値の変化の割合	ア 三平方の定理の意味と証明 イ 三平方の定理の活用 C 関数 (1) 関数 $y = ax^2$ ア 事象と関数 $y = ax^2$ イ 関数 $y = ax^2$ の特徴 ウ 関数 $y = ax^2$ を用いた具体的な事象の説明 エ いろいろな事象と関数 D 資料の活用 (1) 標本調査 ア 標本調査の必要性和意味 イ 標本調査による母集団の傾向の説明 [用語・記号] 全数調査		
--	--	---	---	--	--

中学校数学・第3学年

平成20年6月 文理・編集部

付記：中学校数学・第3学年の移行措置は、平成21年度においては削除も追加もなく現行どおり。22年度の移行措置と23年度の移行措置は同じ。